

## 鞍馬の女

松下幹生

あなたが好きな 鞍馬寺  
枕草子で 近うて遠きと 歌われた  
つづらの坂を 登り詰め  
見晴らし台から 眺める京都  
心休まる 静寂の森  
二人で来た日の 面影を  
絵馬に託しに やって来た

きっとあなたは ここに来る  
紫式部が 若紫にも 言わしめた  
出会いの場とも 伝えらる  
縁結びの寺 言い伝えにも  
源氏絵巻の 色合い染みて  
あなたと来た日の 思い出を  
胸に抱き締め 一人来た

牛若丸の 修行の場  
僧正ガ谷(そうじょうがだに)で  
天狗に兵法 授かって  
のちに平氏を 打ち破る  
偉業を成し遂げ 世に名を残す  
名刹の寺 訪れるたび  
あなたへの思い 噛みしめて  
後ろ髪引き 寺降りる